

3年2組考案

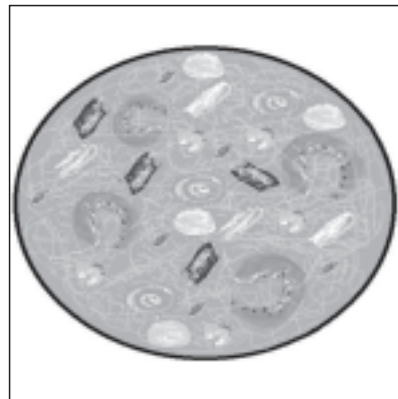
七海味

～汐風を、たべてみませんか～

【ふたのイメージ】

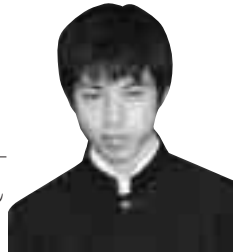


【中身のイメージ】



タコやイカのほか、モアイ像とクチ坊をデザインしたナルトなど7種類の具材を使用した塩味のラーメンです。ネーミングも中身も南三陸町の海をイメージしています。

高橋 隆太さん
(④大森町)



クラス代表者からひとこと

プレゼンで企業の方の話を聞くと、本格的に商品を作るというのは大変なんだなあと思いました。南三陸町の特徴である「海」の特産物をたくさん使ったラーメンなので、ぜひ商品化されてほしいと思います。

モ～I LOVE YOU ラーメン

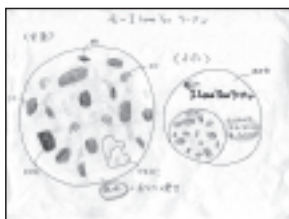
3年3組考案

モ～アイをくないそば

【カップのイメージ】



【中身・ふたのイメージ】

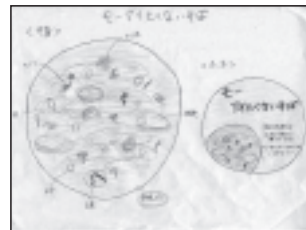


「ラーメンで今すぐあの人に告っちゃおうぜ!!」をキャッチコピーにした、海鮮塩味スープのラーメンです。ストレートに気持ちを伝えられるように、ストレート太めんを使用!

【カップのイメージ】



【中身・ふたのイメージ】



「冷めた気持ちをおそばを食べて暖めようぜ!!」をキャッチコピーにした、和風味のそばです。山菜などの山の幸を具材に使用しています。

プレゼンを受けて

東洋水産(株) 楠東北支店長からの講評

生徒の皆さんが南三陸町を想う気持ちがとても伝わりました。商品としては、キャッチコピーの完成度が高く感心しましたが、あれだけ豪華な具材を使用すると、実際に販売するときは価格設定を500円以上にしなければならないので、そのへんが商品化に向けての課題だと思います。現実には厳しいかもしれませんが、できるだけ商品化できるように、本社へ皆さんの気持ちを伝えたいと思います。

山内 拓さん
(④五日町)



クラス代表者からひとこと

プレゼンでは、練習どおりうまく説明できたと思います。3組のみんなが協力して考えたものなので、ぜひ私たちのアイデアが採用になってほしいと思います。

志津川中学校3年生

南三陸町

「ご当地カップラーメン」商品化への熱意!

志津川中学校3年生が、南三陸町の特産品を具材に使用した「ご当地カップラーメン」を考案し商品化に向けて熱意を燃やしています。

10月14日(木)には、志津川中学校に東洋水産(株)を招いての「南三陸町ご当地カップラーメンプロジェクトプレゼンテーション会」が開催され、生徒の皆さんが考案したオリジナルカップラーメンの企画などを提案しました。

この企画のキッカケ

今年の7月7日(水)、まちづくりに関する町長との意見交換会「町長出前トーク」が志津川中学校で開催されました。環境美化の推進や防災教育の充実など、活発な提言がなされるなか、3年2組から「南三陸町の海の幸でカップラーメンを開発してはどうか?」という提案が出されました。それに対して町長は「大変興味があるので、今後、その可能性を探ってみたいと思います。」と回答し、この企画がスタートしました。

子どもたちの夢を実現させたい

町長が知人を通じて東洋水産(株)に打診したところ、「詳しく話を聞きたい。」と興味を示していただき、「子どもたちの夢を実現させたいので、プレゼンの機会を与えてほしい。」という町の要望を快諾してもらいました。そして、10月14日(木)に志津川中学校3年生各クラスの皆さんがそれぞれ考案したカップラーメンを東洋水産(株)へPRする機会が設けられました。

南三陸町ご当地カップラーメンプロジェクトプレゼンテーション会



志津川中学校では、3年生の各クラスでプロジェクトチームを立ち上げ、総合的な学習の時間を利用して、1か月かけてアイデアを出し合い、4種類のカップラーメンを考案しました。プレゼン当日は、スクリーンに商品のイメージ図を映し出し、出席した東洋水産(株)の楠東北支店長らに商品の特徴などを説明しました。

生徒の皆さんが考案した商品を紹介します。

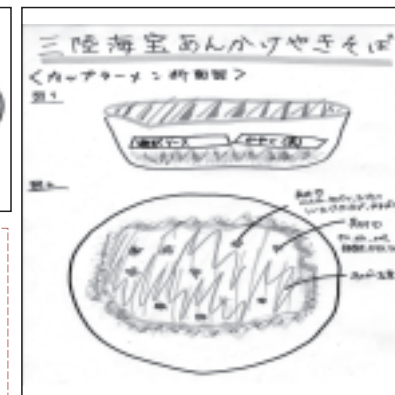
3年1組考案

三陸海宝あんかけやきそば

【ふたのイメージ】



【中身のイメージ】



さっぱりシーフード味で、昆布を練りこんだ細めんを使用。タコ、ホタテ、銀鮭など13種類の具材を使用したあんかけ焼きそばです。

佐藤 優衣さん
(④田尻畑)



クラス代表者からひとこと

プレゼンでは、スムーズに説明できたので良かったです。私たちは、小さい子どもからお年寄りの方までおいしく食べてもらえるように、シーフード味のカップラーメンを考えました。クラス全員の夢もつまっています!